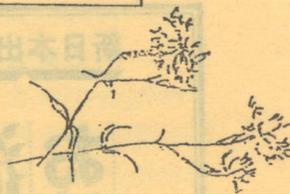


全国重症心身障害児(者)を守る会

## 石川県支部結成される！



8月1日、あの猛暑の中ついに全国守る会の石川県支部が結成されました。

当日は石川県厚生部稲手障害福祉課長、金沢市障害福祉課能沢課長、石川県教育委員会林学校指導課参事、金沢市教育委員会日爪指導主事、七尾児童相談所杉本所長、明和養護学校緩目校長をはじめ、守る会本部佐竹事務局長、東海北陸ブロック森事務局長、田中ブロック長、山田岐阜県支部長、松田愛知県支部長、松尾三重県支部長、富田福井県支部長、法邑・北富山県支部長など多方面より多数の来賓をお迎えして、午後1時より石川県社会福祉会館にて結成大会及び記念講演が行なわれました。

北陸にしては異常な暑さの中、来賓の方々、ボランティアを含めて85名という多数の参加者に集まっていたが、会場のホールも熱気に包まれました。

まず、会長の益子さんから「石川県重症心身障害児(者)を守る会」の結成から、「全国守る会石川県支部」結成に至るまでの経過にも触れながら開会の挨拶がありました。次にみんなで守る会の三原則を司会の山本さんの音頭で唱和し、改めて会の基本理念の大切さを心に喚起しました。

来賓を代表して石川県からと全国守る会からご祝辞をいただきました。

石川県からは「国では重度の障害者が地域でその人らしい生活が送れるよう、制度の確立、質の高いサービスの拡充、自立した生活を総合的に支援するための地域福祉の充実などを図る方向で作業を進めている。石川県としても“すべての人が生きがいをもって生活できる福祉社会”の実現に向けた取り組みを進めており、今後さらに重度障害児・者の日々の暮らしが地域社会の中で充実できるように努力していきたいと考えている。重症心身障害児・者を守る会石川県支部の活動を期待している。」という趣旨の言葉を頂きました。

全国守る会の北浦会長からは「昭和39年全国守る会を発足した当時の『最も弱い命を切り捨てることは、その次に弱い命を切り捨てることにつながる』の思想を堅持して運動を続けてきたがこの考えに多くの方が賛同してくださり、現在の重症児施設が築かれることになった。さらに重症児・者を支える様々な施策のメニューも揃ってきた。石川県の守る会としても今後、地域の子ども達にとって何が必要かを十分検討して運動を進めていくことが大切である。近年国家財政が厳しいため、社会保障機構や制度の見直し、医療費の抑制、国立療養所の再編成など、重症

児を取り巻く環境はますます厳しくなってきた。今こそこの子たちの幸せのために心を合わせ、頑張ってもらいたい。」という励ましの言葉を頂きました。

しばらく休憩をとり、石川県支部のこれからの運動の基本を決める議事が審議されました。

1. 石川県支部の会則
2. 平成11年度の事業計画
3. 平成11年度の予算
4. 役員承認などの議案が理事の越坂さんから提案・説明されました。

参加者のみなさんの多数の賛成で方針が決められ、新しい役員紹介もあり、議事の審議はとどこおりなく終了しました。新役員は今後の運動での役割に気持ちを引き締めました。

その後お待ちかねの「石川県の障害福祉行政について」という石川県厚生部障害福祉課長稲手信次氏の講演を聞きました。

稲手氏はまず、石川県の障害児・者の現況を報告された後、最近話題になっている「社会福祉基礎構造改革」について説明されました。①人権意識に基づいて与えられる福祉から選ぶ福祉へ ②地方分権の推進で地域の特性に応じた福祉へ ③国立病院の独立法人化に伴い重度心身障害児は福祉法人で ④財政困難の中での福祉のニーズの4点が課題になっているとのことでした。

石川県で平成9年に制定した「石川県バリアフリー社会の推進に関する条例」の説明もパンフレットにそってありました。

また、今多くの関心と不安を感じている介護保険と障害者の福祉についても触れられ、その中で身体障害者は介護保険の対応にはなじまないという立場を明らかにされました。

参加者の中からは活躍している障害者団体にたいする公的な資金援助についての質問もあり、県の方からは即答はできないが事業を行なうときには相談してほしいというお話でした。

会の終了後もあちらこちらで輪をつくって話し合っている光景がみられ、今後の石川県支部の運動にたいする期待が感じられました。

この結成大会に駆け付けて下さった来賓の方々、参加者のみなさん、駐車場の誘導や子ども達と関わって下さったボランティアのみなさん、本当にありがとうございました。みなさんの期待に反しないように重症児・者の幸せのためにがんばりたいと思っています。

尚、支部結成に際して稲手氏、医王病院、全国守る会本部、東海北陸ブロック、愛知県支部、静岡県支部、越坂ふめ氏よりご寄付いただきました。支部の事業推進のために使わせていただきたいと思います。心より感謝いたします。

# 今年の巡回療育相談が決まりました！

今年も能登地区と加賀地区の2会場で巡回療育相談を行ないます。

## 能登地区

日・時 10月7日(木) 10時30分～

会場 能登中部保健所 多目的ホール

七尾市本府中町そ部27-9 電話0767-53-2482

日程	10:30	保健所集合
	10:30～12:00	相談
	12:00～13:30	昼食・休憩
	13:30～15:30	相談
	15:30～16:00	スタッフ反省

スタッフ 松島昭広 (国立療養所七尾病院院長)  
板坂武則 (七尾児童相談所相談判定課)  
福浦浩美 (能登中部保健所保健婦)  
益子佳苗 (石川守る会会長)  
越坂由紀子 (石川守る会副会長)  
佐竹・岩倉 (全国守る会本部職員)



## 加賀地区

日・時 10月8日(金) 10時～

会場 小松市立和光学園

小松市額見町ラ2-4 電話0761-44-2595

日程	10:00	小松市和光学園集合
	10:00～12:00	相談
	12:00～13:30	昼食・休憩
	13:00～15:30	相談
	15:30～16:00	スタッフ反省

スタッフ 石川克巳 (国立療養所医王病院院長)  
岸川明子 ( " 小児科医長)  
西脇瑞枝 (石川療育センター地域支援コーディネイター)  
西田淳子 (石川県立明和養護学校教諭)  
越坂由紀子 (石川守る会副会長)  
佐竹・岩倉 (全国守る会本部職員)



会員の方でも、また会員以外の方でも気軽にご相談下さい。

また、ひとりで悩んでいる方がおられたら、ぜひこの相談会のことを知らせてあげたり、お誘いしたりしてください。

# 重症心身障害者を支援

## 来月 1日 守る会県支部が発足

石川県内の重症心身障害者を持つ親やボランティアらが来月1日、全国重症心身障害児(者)を守る会の県支部を発足させる。関係者は全国組織に加わることで、県外の同種団体との交流を深め、重度の心身障害児やその家族への支援活動

を活発化させていきたいとしている。

県内では、九年七月に県重症心身障害児(者)を守る会が設立された。同会は相談に応じたり、レクリエーションの機会を設けるな

どして障害児や家族を支援するとともに全国組織に加入する準備を進めてきた。

県支部設立後は県外と積極的に情報交換し、先進的な事業を視察するなどして県内での活動に反映させる方針。さらに行革の動きの中で、県内の重症心身障害児病棟を持つ国立病院の統合も取りざたされていることから、全国組織を通じて国に対して病院の存続などを要望していく考えである。

H 11. 7. 22 北国新聞

### 本の紹介

新日本出版社

# 海くん おはよう

テレビ、新聞、雑誌で絶賛紹介!

西原理乃著

海くんは、わたしのかわいい弟です。一歳七ヶ月の時に事故にあい、自分でご飯を食べることも、体を動かすこともできません。けれど、毎朝、海くんに語りかけるだけで、不思議なパワーがわいてくるのです。高校二年生の著者が、海くんとの日々を通して、命の輝きを問いかけます。

本体1300円(税別)

東京渋谷千駄ヶ谷4番03(3423)8402

### 会のお知らせ

9月12日 10時～3時 日曜レスパイト  
福祉会館にて

9月12日 2時30分～5時  
ホリデイ・イン金沢

日本小児神経学会北陸地方会  
「障害児教育における医療的ケアについて」



### 訃報

能登地区の守る会のお世話をしてくださっていた山村さんのご子息、貴幸君が去る6月2日永眠されました。七尾病院で訪問教育を高等部までうけられ卒業後も病院で元気にすごしておられたのに残念です。

ご冥福をお祈りいたします。